



■本当に稼働してもいいのか？ 国の判断は？■

～「浜岡原発運転差止請求控訴」裁判を傍聴しました～

先に行われた新潟県知事選挙では、「柏崎刈羽原発の再稼働は認めない」とする米山氏が当選しました。その興奮も収まらぬ10月20日、東京高等裁判所で行われた**浜岡原発運転差止請求控訴**の傍聴に参加しました。これは8月から取り組んできた、浜岡原発に関する3回目の学習会として実際の裁判を傍聴する企画です。2008年から高裁で審議されていますが、裁判官の交代によりダイジェスト版の口頭弁論となりました。

新潟県中越沖地震（2007年7月）で、柏崎刈羽原発は耐震設計の3.6倍の揺れに襲われ（そもそもの耐震設計に誤りがあった）原子炉の緊急停止には成功したものの、複数同時破

壊による放射能漏れを含む64件もの事故が発生しました。同年10月、浜岡原発の運転停止を求める原告らに対し静岡地裁では「複数同時事故を想起する必要はない」との判決を出します。この際、地震学者の石橋克彦氏は「この判決が間違っていることは自然が証明するだろう」と述べています。

それから4年後の3月に福島原発の事故が起き、原因は「想定外の巨大津波」とされています。2007年に静岡地裁が「複数同時事故の発生を想定しなければならない」としていれば、福島原発の事故は防げたかもしれないのです。

原告側の口頭弁論では、想定をはるかに超えた地震動によって柏崎刈羽原発で複数同時破壊が起きた事実を分かりやすく説明しました。加えて、東日本大震災による巨大津波の教訓をもとに再検討された巨大津波モデルによる被災想定など、具体的な主張が続きました。

これに対し、中部電力側は「安全を考慮した設計」「適切性が担保されている」「安全性が確保されている」「津波対策を強化している」などと繰り返し、具体性のない抽象的な口頭弁論に終始しました。傍聴席からは時折、同時多発的なため息が聞かれました。

川崎に住む私たちにとって、浜岡原発は“静岡県の話”と考えている人も多いかもしれませんが、偏西風の風上にあるという事を十分に考慮する必要があると思います。浜岡原発は対岸の火事ではなく、**“風上の原発”**という認識を忘れず、この裁判に注目していきましょう。



10月20日、「浜岡原発運転差止請求控訴」裁判の傍聴に参加してきました。

副理事長 田中 哲男



■私たちの条例案と「川崎市環境基本条例」の学習会 報告■

政策検討チームでは、2年ほど前から、川崎市内で再生可能エネルギーを普及させるための条例案作りを行ってきました。この条例の実現のためには、条例案が、当法人のみならず、川崎市内で再生エネの普及に取り組む様々な団体の総意として提案されるべきです。そのため、条例案作りは、現在、「川崎市地域エネルギー市民協議会」のプロジェクトとして進行しています。

川崎市地域エネルギー市民協議会では、当法人の政策検討チームが作成した条例案に基づき、様々な意見交換がなされました。それによって、条例案はより実現しやすい形に進化を遂げています。条例を紹介するための資料にも改善がなされ、今後はいよいよ条例の制定に向けた活動に進んでいく予定です。

新たな条例作りを進めるうえでは、川崎市に既に存在している環境条例との整合性を意識しなくてはなりません。そこで、10月31日、川崎市環境局総務部環境調整課の方にお越しいただき、川崎市環境基本条例の学習会を実施しました。

学習会では、川崎市環境基本条例の制定経緯を初めとして、条例の全体像、条文の内容・趣旨などにつき、分かりやすく教えていただきました。川崎市環境基本条例は、国の環境基本法に先立って制定されたものです。公害などの地域的な環境問題のみならず、地球環境問題を意識した内容を持ち、さらには市民参画に関する規定も盛り込まれるなど、この条例が交付された平成3年当時としては、先駆的な内容を持つものです。川崎市がこのような条例を制定していたと知ることができたことは、とても喜ばしく、今後の活動の励みになりました。

学習会の最後には、私たちが考えている条例案をご紹介します。条例の制定に向けた動きはこれから本格化していきますが、川崎市環境基本条例の精神を実現するものとして、力を入れて取り組んでいきたいと思えます。

政策検討チーム 岩坂 康佑



福島復興支援のスピーチをする加藤副理事長

■「森とせせらぎ祭り」に参加■

11月3日（祝日）晴天のもと、高津区の橘公園で開催された「第10回 森とせせらぎ祭り」の中で、東日本大震災と福島原発事故から5年半が経った福島の現状と、当NPO法人の市民発電所についてお話しする機会をいただきました。当NPOが8月に行った福島ツアーで見てきた浪江町は未だ線量が高いために住めない地域があること、福島市立総合病院の医院長の話、南相馬のガイドさんの想いや、放射線被害の実情よりもっと知って欲しい

ことがたくさんあるという現地の声など、少しでも福島復興に関心を寄せていただけたらと思って話しました。降壇後、男性が「おれ、浪江に住んでたんだ。話してくれて懐かしかった」と話しかけてくださり、「家はあるけど、川崎に住んで5年が経ったよ」とおっしやる笑顔に身につまされました。祭りの平穏を味わいつつ、早急に原発を無くさなくてははいけない！と思いました。

副理事長 加藤 伸子



■ 2号機の発電状況報告 ■

事業検討チームの木田です。11月になり、寒くなってきました。天候に恵まれなかった9月・10月とは違って変わって晴れの日が増え、太陽光発電にとってうれしい日々が続いています。

さて、昨年8月13日から発電開始した2号機について、今年10月までの発電実績がまとまりました。※2号機：出力16.5kW、パネル66枚、高津区明津に設置。

累計で約23,000kWh（23MWh）発電しました。モジュール1kWあたりだと年間1,220kWhの発電になります。

売電収入は基本料金と通信料を差し引くと80万円弱です。

5月はとても発電しましたが、今年9月は天候不順でわずかに予測割れしました。モジュール傾斜角は1号機の5度に対し、2号機は10度です。たかだか5度の違いですが、キロワットあたりの月次発電量を1号機と比較しますと、太陽高度の低い10月～3月は4～7パーセントの発電量アップに貢献することがわかりました。もちろん、1号機も順調に発電しており、50MWhを超えました。

下のグラフはキロワットあたりの月間発電量（比発電量）です。皆さまの発電所と比較してみてください。（2016年11月の発電電力量は14日分の計上です）



事業検討チーム 木田 千栄美





5号機「むさし」の開所式をネットワークする仲間たちで祝う

こだいらソーラー市民発電所5号機稼働

NPO 法人 こだいらソーラー 理事長 ^{とこう} 都甲 公子

2016年5月に発電開始したNPO こだいらソーラーの太陽光発電所「むさし」(13kW)は、障がい者支援NPO 春望さんの運営する生活リハビリセンター六三四の屋根への設置です。昨年設置した3号機「未来」を載せている障がい者生活介護施設夢風船さんの紹介で、屋根をお借りすることができました。

3.11 原発事故をきっかけに、市民の力で地域にクリーンなエネルギーを増やしていくことをめざそうと、NPO こだいらソーラーを立ち上げ、東京での最初の固定価格買取

制度下の出資型市民共同発電所として、2013年2月、小平市学園西町に1号機を設置。現在、全部で5機76kWが稼働しています。資金を拠出してくださった約150人の市民をはじめ、屋根をお借りしている事業者や団体、設置への協力団体や施工店、志を同じくする市民電力団体との連携など、ネットワークの広がりにも手ごたえを感じています。

市民発電所を地域のエネルギーシフトのシンボル、まちの資産として認知してもらえるよう、啓発活動として、セミナーや工作教室を開催しています。市民発電所づくりのガイドともなるパンフレットを、今年5号全部の写真を掲載して改定・増刷、市との協働で作成している省エネの知恵満載の環境カレンダーも今年で3年目となります。市役所ロビーや公民館ギャラリーでの省エネ・創エネフェアでは、市内の自然エネルギーの導入状況を表す地図を作成し、展示しました。小平市内の再エネ施設は、私たちの発電所も含め、2051件、8,479kWにのぼります。

2016年4月、電力自由化がスタート。これをチャンスに、私たちのつくった再エネ電気を、再エネで暮らしたい消費者市民に届けたい。そのために、売電先を新電力へ変更。新電力の再エネ調達と再エネ小売事業の拡大を応援し、市民に「デンキを選んで社会を変えよう!」と呼びかけるパワーシフトキャンペーンにも、賛同・参加しています。小なりといえども創エネ事業者として、再エネで暮らす未来を引き寄せるムーブメントを起こしていきたいと思います。

【編集後記】

原子力発電の廃炉費用を託送料金に上乗せし、新電力(正確には新電力と契約している電力消費者)にもその料金が課せられるという議論が進行中ですが、冗談のようなこの「悪だくみ」に対してどのように怒ればよいのか善良な私たちは茫然としてしまう…みなさまの知恵をお貸しください。(加藤伸子)

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

でん太通信は毎月15日に発行しています。

